

高退互広報

退職予定会員向け

号 外

令和7年12月10日

発行 一般財団法人 愛知県公立高等学校教職員退職互助会

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目49番10号 愛知県教育会館5F TEL (052) 261-2248

*ホームページ <http://www.saturn.dti.ne.jp/aitikoti/index.html> FAX (052) 241-0318



ホームページは「高退互」で検索してください。愛知県退職教職員互助会は小・中学校の互助会ですのでご注意ください。

より確かな安心のために

来春、御退職予定の皆様におかれましては、長年にわたり学校教育の発展に御尽力くださったことに、心から感謝を申し上げます。

皆様は、豊かな経験と深い知見をもとに若い職員を励ましながら、近年求められる主体的・対話的で深い学びの実現に向けた探究的な授業や、コロナ禍を機に整備された生徒一人一台端末を活用した授業など、教育の質向上のために御尽力くださいました。退職後も健康を維持され、さまざまな立場から引き続き学校教育を支え、見守っていただきますようお願いいたします。

さて、退職後は豊かで潤いのある生活を送りたいと願う気持ちは誰しも同じだと思います。その中で、今は健康であっても将来の病気への不安は少なからずお持ちではないでしょうか。本会は退職後の医療費負担に備える互助団体として、半世紀を超えて維持されてきました。下に示すお便りのとおり、先輩方から信頼されている本会の役割を、今後も引き継いでいきたいと考えております。国の医療制度改革に応じて、本会の給付制度の在り方も見直していくことにはなりますが、安心の拠り所としての役割と意義は変わらないと思っております。

安心は、できるだけ多くの会員が集うことで、より確かなものとなります。退職会員への移行について、ぜひご検討ください。

愛知県公立高等学校教職員退職互助会 理事長 栗木 晴久

<退職会員様からのお便り> (原文のまま記載)

- 私は昨年4月に突然腰椎骨折とパーキンソンで重篤に陥り入院、寝たきりの要介護4に認定され、心身ともに絶望の苦しい日々でした。それでも適切な医療のお陰で辛iriハビリにも耐えて動けるようになり腰椎骨折は寛解、1年後の今は要介護1まで回復し、パーキンソンの治療に専念しております。この1年の闘病は医療費が多額に上り、後期高齢者医療給付を受給する困窮に陥りました。私の治療にともなう家族の想定外の出費もかさみます。今改めて適切な医療を受けるためには相応の出費が必要なこと、加えてそれにとまう家族の出費も大変なことを痛感しています。医療の進歩・高度化は有難いことですが、医療費の高騰は避けられません。今回の大病で夫の退職互助会の医療費補助は大きな支えになりました。利益を求めない互助会のマイナーな補助制度はコスパが最高で終身のお陰で、鬼籍に近づくほど想定外の支えであり切実に感謝の他ありません。
- 漸く喜寿まで辿りつくことができました。それでも無病息災というわけにはいかない。足腰の衰え、皮膚疾患、眼の疾患、歯の疾患など50歳代には思いもしなかった身体の不調に悩まされることが多い。医者からは「ご高齢ですから」の一言で済まされてしまうことも度々である。医療費は3割負担だけれども、年に一度、互助会に申請し、補助を受けられるのは有難い。補助の割合が以前より低減されているとはいえ、必要な医療費、生活費を切り詰めなければと思わなくても良いのは、普段の気持ちの持ちようとしても有難いことだと感謝している。